

《書道分野》

科目	書道Ⅰ	単位数	2	区分	選択必修	
教科書・教材	光村 『書Ⅰ』			配当年次	2年次	
<b>授業のねらい・概要</b>						
<p>書写能力を高めるとともに、書の表現と鑑賞の能力を伸ばす。</p> <p>①古典を学習を通して基礎的な用筆や鑑賞能力を身につけよう。</p> <p>②感性豊かに自分の個性を生かした創造的な表現を楽しく展開しよう。</p>						
<b>授業の進め方</b>						
教科書及び学習プリントにより、実技を中心に授業をすすめ、各課題で作品を制作する。						
		<b>学習の内容</b>			考查	時数
前期	4月	書写から書道へ（用具用材）			中間	17
	5月	・楷書				
	6月	・行書				
	7月	・篆刻				
	8月	くれき野祭に向けて作品制作（創作）			期末	
9月	・草書					
後期	10月	・隸書			中間	17
	11月	・漢字仮名交じり書				
	12月	・仮名			期末	18
	1月	・暮らしの中の書（手紙の書き方）				
	2月	・刻字（表札）				
<b>評価の方法</b>						
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。						
<b>備考</b>						
「書道Ⅰ」・「音楽Ⅰ」の2科目から選択必修。						

科目	書道Ⅲ	単位数	2	区分	選択	
教科書・教材	光村『書Ⅲ』 教育図書 硬筆レッスン帳			配当年次	3年次	
<b>授業のねらい・概要</b>						
書道Ⅰ・Ⅱで学習した線質の表し方、運筆の方法の習得や書道における表現と鑑賞の活動をさらに深める。また創作活動や身近な書にも触れ、自己と書を愛する心を育てる。						
<b>授業の進め方</b>						
臨書を通して基本的な点画、線質の用筆を繰り返しによって習得する。学習した楷書、行書の古典を題材とし習得した技法を生かして創作を行う。						
		<b>学習の内容</b>			考查	時数
前期	4月	漢字仮名交じりの書			中間	17
	5月	・表現方法・紙面構成・用具用材の工夫				
	6月	漢字の書（1）				
	7月	・楷書、行書の学習				
	8月	くれき野祭に向けて作品制作（創作）			期末	
9月	漢字の書（2）					
後期	10月	・草書、篆書、隸書の学習			中間	17
	11月	実用の書				
	12月	・刻字			期末	18
	1月	・絵手紙等の作成				
	2月	硬筆の学習（編筆・ボールペンの使い方）				
<b>評価の方法</b>						
出席状況・学習態度・作品の作製などを総合的に評価する。						
<b>備考</b>						
「書道Ⅰ」を履修・修得済みのこと。						